

2021 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名	株式会社ショーケース
代表者名	代表取締役社長 永田 豊志 (コード番号：3909 東証一部)
問合せ先	コーポレート本部 経営企画部 部長 森 友也 (TEL 03-6866-8555)

ショーケースの働き方が東京都の「TOKYO テレワークアワード」大賞を受賞いたしました

当社は、2021 年 3 月 15 日付で東京都の主催する第 1 回「TOKYO テレワークアワード」の大賞を受賞いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

「TOKYO テレワークアワード」 とは

東京都は、公労使による「新しい東京」実現会議における構成団体とともに、官民一体でテレワークの定着・浸透に向け、「テレワーク東京ルール」の普及推進に取り組んでいます。

そして、「テレワーク東京ルール」宣言企業の中からテレワークに関する先進的・モデル的取組を行っている企業・団体を表彰して広く公表することで、緊急事態宣言下のテレワーク実施気運を醸成する等、テレワークの推進を図ることを目的とし「TOKYO テレワークアワード」を募集・審査・表彰しています。

ショーケースの働き方について

2020 年 2 月から新型コロナウイルス感染症対策のため、リモートワークおよび在宅勤務体制への移行を開始し、同年 4 月より緊急事態宣言を視野に入れ、リモートワーク率を短期的に 95%まで引き上げることに成功しました。

成功の要因として、下記のポイントを中心にテレワークを推進して参りました。

< 1. 推進体制 >

代表取締役社長のトップコミットメントのもと、コーポレート本部（バックオフィス）が主体となり、各事業部門・各部門の業務を速やかにオンライン化。わずか 2 ヶ月という期間で、緊急事態宣言下でも事業継続可能な事業推進および事業継続に必要な体制を構築。

< 2. 労働環境への投資 >

各業務ツール（ハンコレス、請求書のオンライン化など）の整備、コアタイムなしのフルフレックス制度導入、社内コミュニケーション活性化を目的としたオンライン全体会を月 2 回実施など、本社オフィスと変わらない労働環境へのサポートを重点的に実施。また、従業員の多様性に合わせて自由に使えるリモートワーク手当（月 20,000 円支給）は、現在も継続して支給。

これらの投資により当社のデジタルイゼーション（DX）化が促進、場所や時間に制約されない働き方の整備にもつながり、多様な人材が活躍できる労働環境も実現。

＜ 3. ビジネス革新＞

ウェビナーによる顧客接点の創出、オンライン商談、デジタルマーケティングチーム組成など、オンラインツールの導入にとどまらず、営業戦略・戦術・プロセスのDX化に着手。

また、株主総会はハイブリッド型のオンライン化に移行。自社サービス eKYC ツール「ProTech ID Checker」を活用した、株主のオンライン本人確認を実施。

当社は、今後とも感染症対策や天災などに対するBCP対策、そして働き方改革による従業員の働く多様性を拡張することで、持続可能な経営を目指して参ります。

＜ご参考＞東京都産業労働局「TOKYOテレワークアワード」

<https://www.telework-rule.metro.tokyo.lg.jp/award/>

以 上